

平成22年度第1回常任理事会議事録

日 時 平成22年4月24日（土）15時～17時
場 所 静岡県教育会館 地下1階特別会議室
出席者 高木会長、沼本副会長、船越副会長、岩本副会長、佐野副会長
落合理事長他常任理事21名
鈴木事務局長、石黒副事務局長、三津山副事務局長

会長あいさつ

本日は5つの議題が用意されております。活発な意見ををお願いします。

議事

22年3月14日に総務委員会・競技委員会で検討した次の4項目について報告および審議・承認をお願いするために本日常任理事会を開催することになった。

1 総務委員会・競技委員会報告

（1）大会の主催・主管および主管協会の見直しについて・・・鈴木事務局長

大会の実態に合わせ資料「県連盟が主催・共催・主管になっている大会」および「県内大会運営主管変更について」を説明した。

主に草薙、有度山、西ヶ谷で行う大会は静岡市協会が主管であったが、静岡市協会と調整した結果、一部を県連が実施するように変更した。

<質問事項>

県女子年齢別大会が運営に記載がないのはどうしてか。

<回答>

出場数が少なく県スポーツレクレーション大会と合わせて実施することにした。

なお、県スポーツレクレーション祭年齢別ソフトテニス競技は、県教育委員会補助事業のため、他の大会との同時開催ができないため、女子年齢別大会の名称を使用しなかった。

（2）大会要項の見直しについて・・・鈴木事務局長

主な見直し

・大会参加資格

小学生大会および中学生大会でベンチに入る監督・コーチは本年度の会員登録者であり、ハンドブックの内容を熟知していること。ただし一般の監督・コーチは審判資格取得者であること。

・大会参加料

「大会参加料は雨天、天災、集団疾病等による中止の場合でも返還しない。」

参加料返還の認識が今まで人により異なっていたため、日本連盟、東海連盟主催の大会同様に大会要項に明記した。

<意見>

- ・「大会が中止になった場合は返還すべき」という意見が出た。

返還しないことにした理由はプログラム印刷代、切手等通信費、賞品代を差引いて個人に返還することは事務局の労力が多大であり、場合によってはコート使用料もかかる場合がある。

<結論>

参加料の返還について意見が分かれたので採決を行い、返還しないことに決定した。ただし、中学生大会のヨネックスカップファイナルは除く。

(3) 旅費規定の見直しについて

主な変更点

- ・特急料金の支給を100km以上から70km以上に変更
- ・日当を「支給しない」から100km以上の場合3,000円支給に変更

<意見>

- ・「総務委員会に変更しなかった宿泊費12,000円は高過ぎるので、上限金額を決めて実費とするべき」という意見が出た。

<結論>

変更案として「1泊2食付きで実費とし、上限12,000円で領収書要」の提案が出され、採決の結果、変更案が採用承認された。

(4) 国民体育大会代表選手の選考方法について・・・鈴木事務局長、大石監督

- ・モチベーションを大会直前まで保つことを目的に、2次予選の上位2ペア及び強化委員会推薦の4名を代表候補として、そのなかから大会出場選手6名を決定することにした。
- ・1次予選の免除者について
アジア大会予選会出場者および関東学生リーグ出場者の内、前年度国体選手、全国大会等の成績優秀者を1次予選の免除をしたい。

<意見>

今回の提案はそのままでもいいが、大会直前まで自分が選手に選考されないことの選手の不安また予選大会の重要性和必要性の薄れによる予選参加者の減少傾向がみられるので毎年、しっかりと結果を検証しながら、どの選考方法がいいか検討してほしい。

少年はインターハイ出場者と国体予選は別にするよう検討してほしい。

<結論>

今年度は提案どおり実施する。

- 2 日本体育協会スポーツ指導員養成講習会について・・・市川指導者育成部長
近々、スポーツ指導員養成講習会の募集案内を各協会に送付しますので、各協会傘下の団体・会員に案内をしていただきたい。6月中旬までに受講希望者を掴み、改めて受講希望者に養成講習会申込書を送付する。
- 3 静岡県ソフトテニス指導者講習会開催について・・・市川指導者育成部長
 - ・9月中旬の中学・高校の指導者講習会に外部指導者も加える。
 - ・県連主催の指導者講習会を東部で実施するため、現在会場を手配中である。
- 4 中学生委員会報告・・・吉田中学生委員長
 - ・4月、5月初めに審判講習会を受講する学校は会員登録を2年、3年生がまず実施し、新1年生は5月に本入部後に会員登録する2段階で実施するように周知した。
また秋口までに会員登録をしない学校はヨネックスカップに出場させない。
 - ・外部コーチ、中体連顧問はジュニア審判マニュアルを熟知するようにお願いした。
また外部コーチには22年度、23年度に2級審判員資格を取得するようにお願いする。
 - ・中学生県ランキングは21年度までは県中学生選手権と県中学総体の両大会の成績により決定していたが、22年度からは県中学生選手権大会の成績のみとする。

沼本副会長あいさつ

熱心な討議をしていただきましてありがとうございました。お疲れさまでありました。

以上